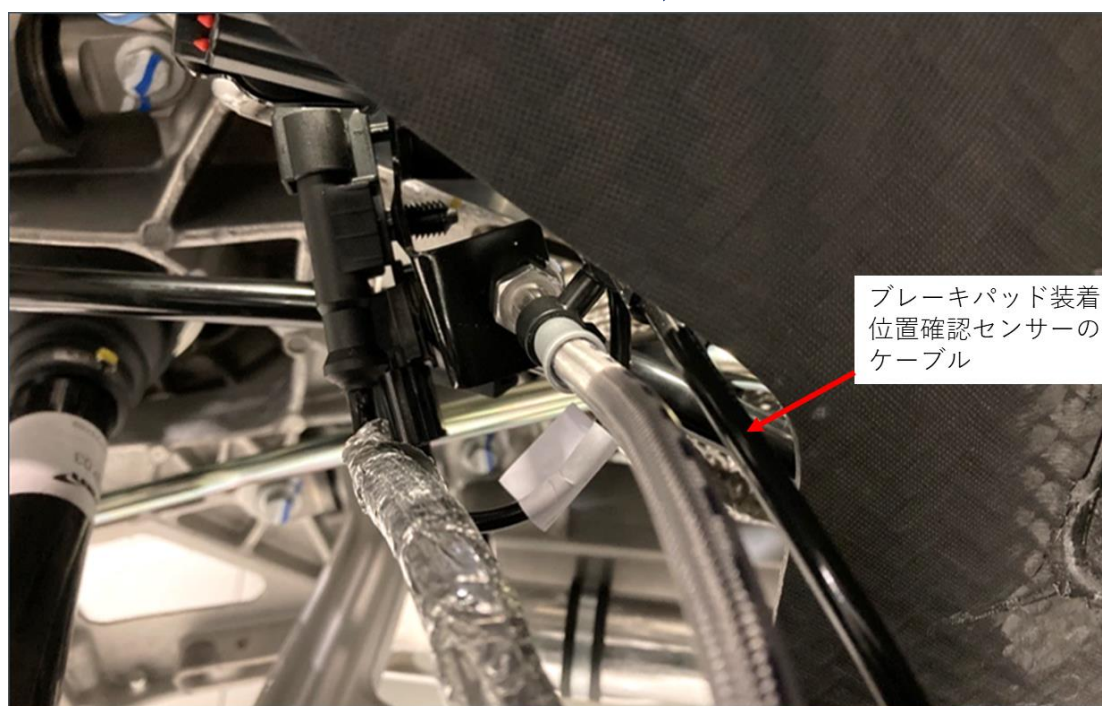
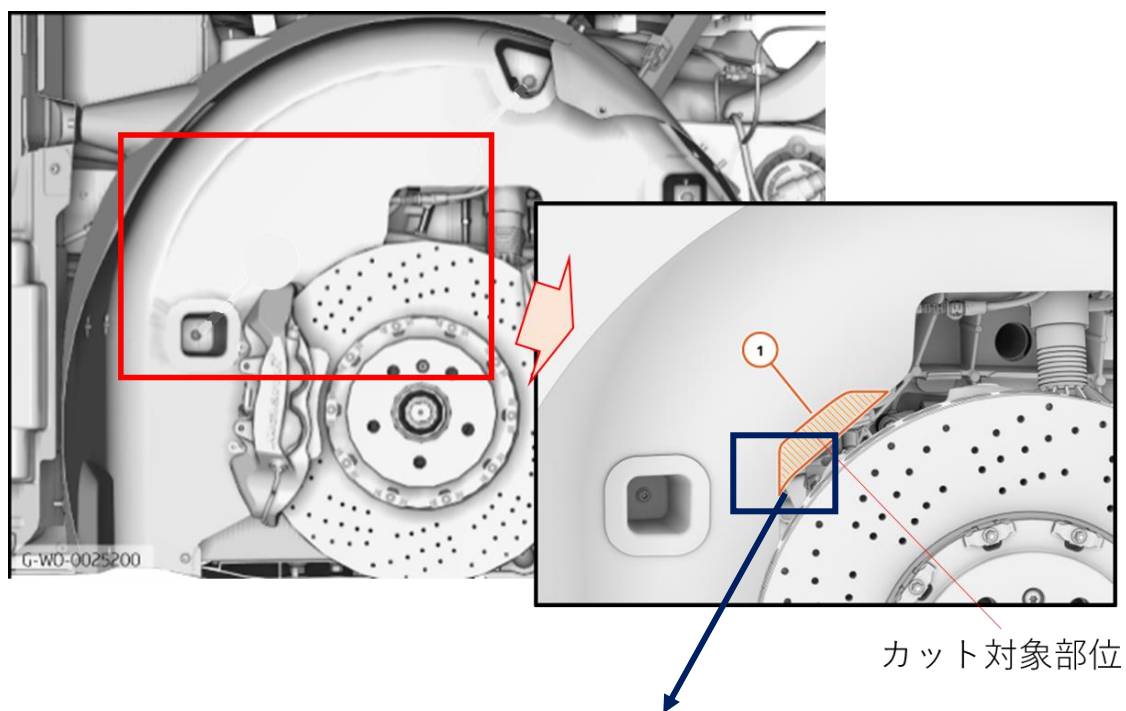


改善箇所説明図



下段の写真はリアホイールアーチライナーをカットする前の位置関係を示している。

基準不適合発生箇所

設計時のレイアウト検証が不十分なため、リアホイールアーチライナー（ホイールハウスカバー）の一部が、振動によりリアブレーキパッド装着位置センサーのケーブルと接触する恐れがあり、最悪の場合ケーブルが損傷しブレーキワーニングランプを点灯させる可能性がある。

全車両、接触する可能性があるリアホイールアーチライナー部分をカットする。また、ケーブルを点検し損傷している場合には交換する。

識別：改善実施済車は、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に、外-3405 のステッカーを貼付する。